

平成 27 年度 加賀市当初予算概要

この資料中、「前年比」は前年度当初予算比を表します。

1 全会計の予算総額 691 億 3,050 万円 (前年比 73 億 6,260 万円 +11.9%)

平成 27 年度に加賀市当初予算は、一般会計における統合新病院建設事業出資金 (+9 億 1,780 万円) や小学校体育館非構造部材の耐震化工事費 (+2 億 2,340 万円) の増加、病院事業会計における統合新病院建設事業費 (+54 億 6,798 万円) の増加により、全会計の予算総額は、前年比で 11.9%増加している。

2 一般会計予算 302 億円 (前年比 +10 億 7,500 万円 +3.7%) <地方財政計画の伸び率 +2.3%>

※参考 借換債を除く場合 297 億 6,041 万円 (前年比 +7 億 1,189 万円 +2.5%)

主な歳入		(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 市 税	89 億 550 万円	(+ 0.6%)	法人市民税、市たばこ税、入湯税等の増加	
② 地方消費税交付金	11 億 8,400 万円	(+54.2%)	H26 年度からの税率引き上げに伴う増収の通年化	
③ 地方交付税	72 億 4,300 万円	(▲ 2.2%)	市税、地方消費税交付金等の増収による普通交付税の減少	
④ 国庫支出金	45 億 5,796 万円	(▲ 5.3%)	臨時福祉給付費、子育て世帯臨時特例給付費補助金の減少	
⑤ 県支出金	19 億 5,338 万円	(+ 8.5%)	私立保育園整備事業補助金、農業維持支払事業補助金の増加	
⑥ 市 債	40 億 1,879 万円	(+30.4%)	統合新病院建設事業出資債、借換債の増加	
うち臨時財政対策債	13 億 5,000 万円	(▲ 10.0%)		

なお、歳出に対し歳入が不足する 5 億 5,000 万円については、財政調整基金の取り崩しにより対応する。
(H26 当初予算 5 億 2,000 万円)

主な歳出		(予算額)	(前年比)	(主な増減理由)
① 人 件 費	48 億 2,423 万円	(+ 2.5%)	職員退職手当の増加、国政調査員報酬の皆増	
② 扶 助 費	68 億 5,599 万円	(+ 1.2%)	窓口無料化等によるこども医療費助成の増加、保育実施費の増加	
③ 公 債 費	41 億 211 万円	(+ 4.5%)	借換債の増加 (借換債を除く場合は▲4.8%)	
④ 物 件 費	42 億 1,294 万円	(+ 5.1%)	社会保障・税番号制度導入によるシステム改修事業費等の増加	

⑤ 補助費	14億7,683万円	(▲6.8%)	臨時福祉給付費及び子育て世帯臨時特例給付費の減少
⑥ 投資及び出資金	14億5,192万円	(+153.8%)	統合新病院建設事業出資金の増加
⑦ 繰出金	43億1,722万円	(+3.5%)	下水道事業特別会計繰出金の増加
⑧ 投資的経費	22億2,861万円	(▲16.1%)	加賀市文化会館及び加賀体育館耐震補強工事費の皆減

3 特別会計予算（7会計） 207億6,730万円（前年比 +11億3,090万円 +5.8%）

(1) 国民健康保険特別会計 98億 160万円（前年比 +11億1,790万円 +12.9%）

療養給付費（一般）の一人当たり給付費の前年比1.06倍の伸び、保険財政共同安定化事業費(制度改正)の増加を見込む。

(2) 後期高齢者医療特別会計 8億 1,760万円（前年比 ▲1,270万円 ▲1.5%）

被保険者の所得の減少見込みに伴い、後期高齢者医療保険料収入及び広域連合への納付金の減少を見込む。

(3) 介護保険特別会計 69億 420万円（前年比 ▲9,710万円 ▲1.4%）

介護保険事業計画第6期（H27～H29）の1年目。介護報酬改定（▲2.27%）等により介護給付費の減少を見込む。

(4) 下水道事業特別会計 29億 1,040万円（前年比 +1億4,850万円 +5.4%）

※参考 借換債を除く場合 27億6,144万円（前年比 +2,986万円 +1.1%）

片山津処理区において梶井町・打越町・高塚町の管渠築造事業を、大聖寺川処理区において大聖寺松島町・山代温泉10区・保賀町・山中温泉長谷田町の管渠築造事業を推進する。農業集落排水事業として三木地区の管路整備を推進する。

(5) 加賀山代温泉財産区特別会計 1億 3,500万円（前年比 ▲300万円 ▲2.2%）

「総湯」・「古総湯」の管理運営事業を引き続き行う。

(6) 加賀山中温泉財産区特別会計 1 億 6,840 万円 (前年比 +210 万円 +1.3%)

源泉の配湯事業及び「菊の湯」の管理運営事業を引き続き行う。

(7) 土地区画整理事業特別会計 3,010 万円 (前年比 ▲2,480 万円 ▲45.2%)

長谷田西土地区画整理事業においては、保留地の売却促進を図る。

橋立土地区画整理事業においては、平成 26 年度に換地処分を行い造成事業が完了するため、会計規模が縮小する。

4 企業会計予算 (2 会計) 181 億 6,320 万円 (前年比 +51 億 5,670 万円 +39.6%)

(1) 病院事業会計 140 億 6,320 万円 (前年比 +52 億 1,560 万円 +58.9%)

統合新病院建設事業の最終年度として建設改良費等で 70 億 3,206 万円を計上するほか、平成 28 年 4 月の開院に向け、平成 27 年 10 月からの山中温泉医療センター直営化を始めとした開院準備経費を計上する。

(2) 水道事業会計 41 億円 (前年比 ▲5,890 万円 ▲1.4%)

老朽管更新及び配水管施設の整備を推進するとともに、山中浄水場における水質向上のため活性炭注入装置の整備を行う。